

衣類の洗い方を“見た目”で決めて、大丈夫!?

「取扱い絵表示」の利用と洗濯の実態

生活者研究センター
主任研究員 加藤 玲子

20代既婚女性が、洗濯後の衣類の仕上がりに納得がいかに困っている…。そうした声を受けて原因を調べたところ、衣類の取扱い説明書ともいえる「取扱い絵表示」が、若い年代ではあまり活用されていないという現状が浮かび上がってきました。本レポートでは20～60代既婚女性の「洗濯」と「取扱い絵表示(以下、絵表示)」に関する意識と実態についてご報告します。(日本繊維製品消費科学会2014年年次大会にて発表)

※2016年12月より、衣類の取扱い表示が新しくなりました。▶詳しくはこちら http://mykaji.kao.com/washing_guide/32319/

調査結果の概要

●20代既婚女性の洗濯は、「衣類のダメージ」が困りごと

- ・毛羽立ちや毛玉、シワ、衣類の縮み、型くずれなど、洗濯後の衣類のダメージに関する悩みは、20代に多い。

●若い年代ほど絵表示を活用していない

- ・洗濯をするときに絵表示を参考にするのは、60代で90%、50代で86%。20代は64%にとどまる。
- ・絵表示を参考にしない人のうち、50～60代は洗濯方法を経験から「見なくてもだいたい判断できる」(48%)、20代では見る「習慣がない」(84%)が理由のトップ。

●20代は洗濯方法を「見た目」で判断する傾向

- ・セーターの場合、20代の52%が絵表示よりも、衣類の「見た目」で洗濯方法を判断。
- ・やさしく洗う必要があるデリケートな衣類を、いつもの洗濯＝「標準コース」で洗う傾向が、20代で多く見られる。

●どの年代も、大切な衣類を長持ちさせたい気持ちは同じ

- ・衣類を大切にしたい思いと、実際の洗濯方法は若い年代ほどギャップが見られる。
- ・絵表示の意味を正しく理解して上手に活用することが、衣類を長持ちさせる決め手となる。

【調査概要】

「衣類の取扱い絵表示に関する生活者の意識」

調査期間：2013年11月

調査方法：インターネット調査

調査対象：1都3県在住の20～60代既婚女性

回答者数：519人

調査期間：2014年1月

調査方法：インターネット調査

調査対象：1都3県在住の20～60代既婚女性

回答者数：1,286人

調査期間：2013年4～9月

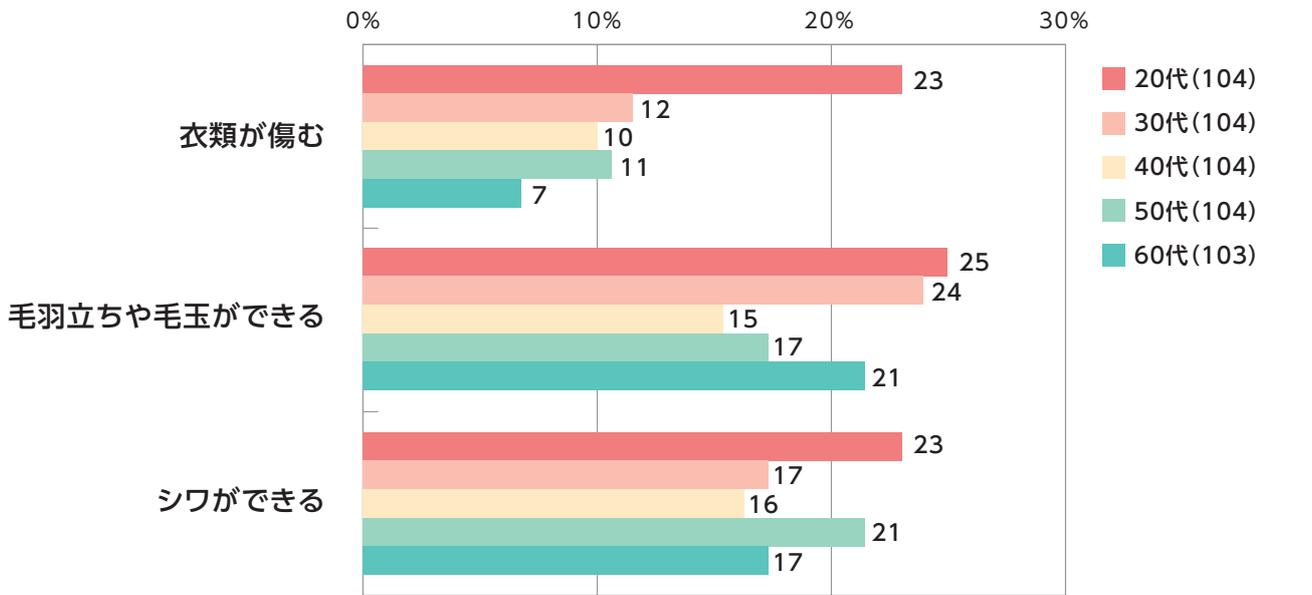
調査方法：家庭訪問インタビュー調査

調査対象：1都3県在住の20～60代女性

対象者数：20人

20代既婚女性の洗濯は、 「衣類のダメージ」が困りごと

洗濯をした衣類が、毛羽立ちや毛玉、シワ、型くずれなど、ダメージを起こし、困っている20代が多いという現状が見えてきました。「衣類の傷み」に関して、年代別に見てみると、60代で7%、50代で11%であるのに対し、20代では23%と10ポイント以上の差が見られ、困っている人の割合は特に20代が多いことがわかりました(図1)。



20～60代既婚女性 519人(花王調べ)
(複数回答)

(図1)洗濯の仕上がりで困っていること

「衣類の仕上がり」のお悩み例



ニット

標準コースで何度か洗濯していたら、ニットのベストがフェルト化して縮んだ。

左:洗濯前

右:洗濯機の標準コースで複数回洗濯



フリーストレーナー

首まわりやそで口に毛玉が発生し、ヨレている。



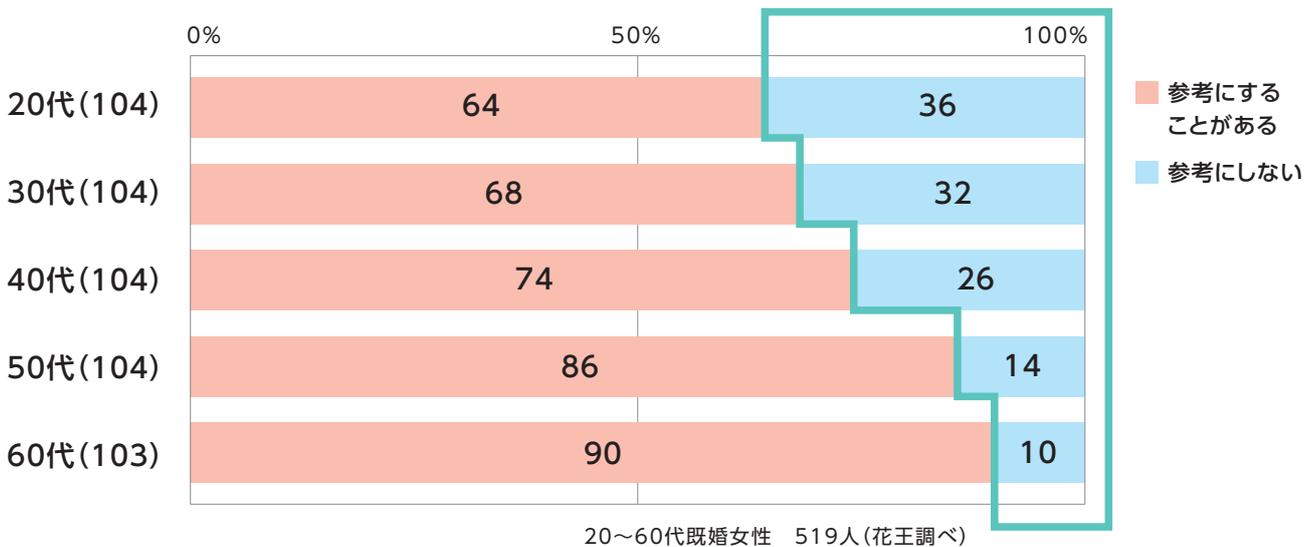
プリーツスカート

折り目加工が取れて、プリーツがなくなりシワシワ。

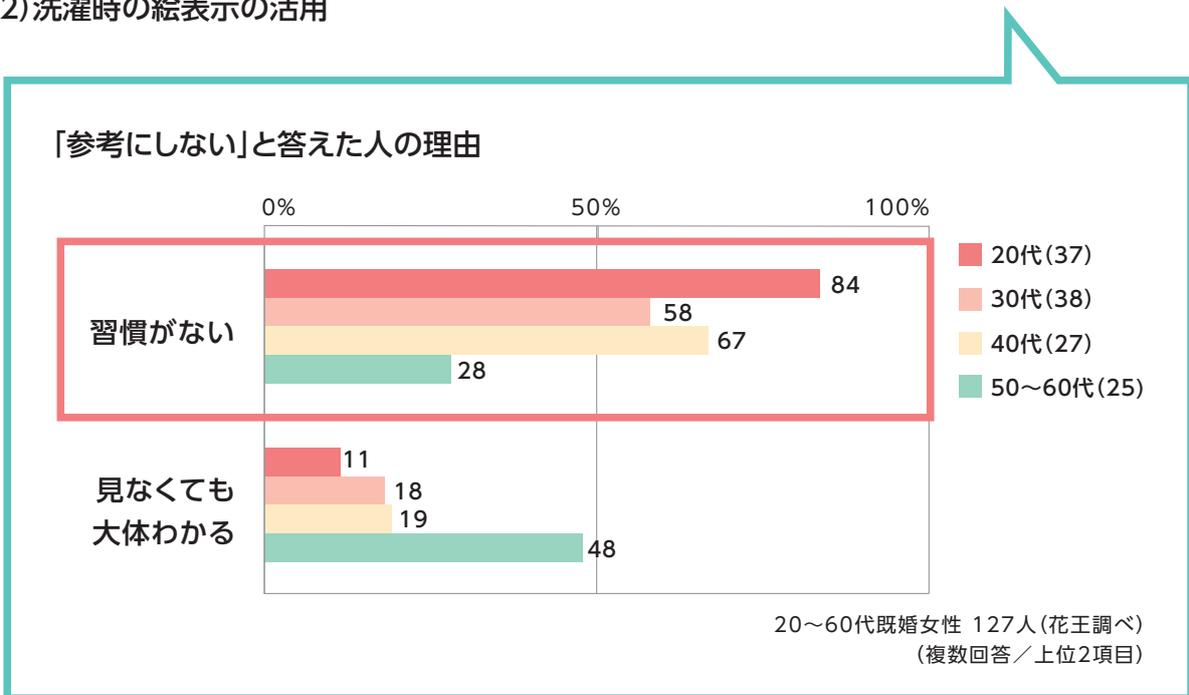
若い年代ほど絵表示を活用していない

60代の90%、50代の86%が、洗濯するとき衣類の取扱い説明書とも言える「取扱い絵表示」を参考にしているのに対し、20代での活用は64%にとどまっています(図2)。

洗濯のときに絵表示を参考にする人は、その理由として、「失敗したくない」「長くきれいに着たい」「衣類にとって一番良い方法で洗いたい」などの声が聞かれました。また、参考にしない人のうち50～60代では「見なくてもだいたいわかる」(48%)という理由があがり、ベテランならではの経験に基づき判断している様子がうかがえました。その一方で、20代はそもそも絵表示を見る「習慣がない」(84%)ということもわかりました。

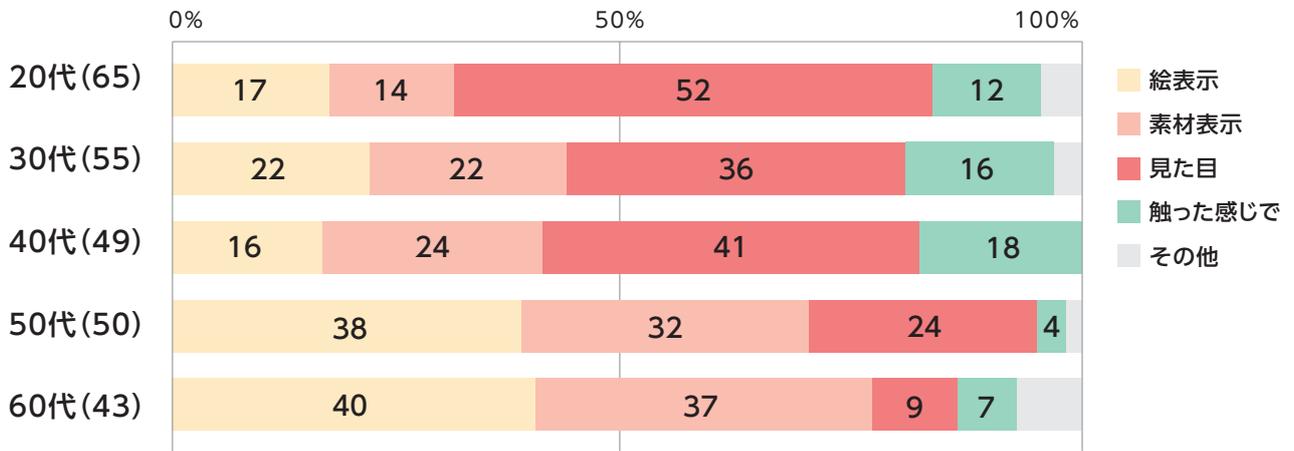


(図2) 洗濯時の絵表示の活用



20代は洗濯方法を「見た目」で判断する傾向

20～40代は、洗濯方法を絵表示ではなく、衣類の「見た目」で判断して決めている傾向が見られました。20代では、やさしく洗う必要があるニットやカーディガンでも、洗う時に絵表示を参考にする人は17%にとどまり、52%が見た目で判断していました(図3)。

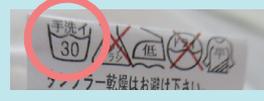


20～60代既婚女性 262人(花王調べ)

(図3)洗濯方法の判断基準「ニット・セーター・カーディガン」の場合

20代に聞いた衣類の洗い方

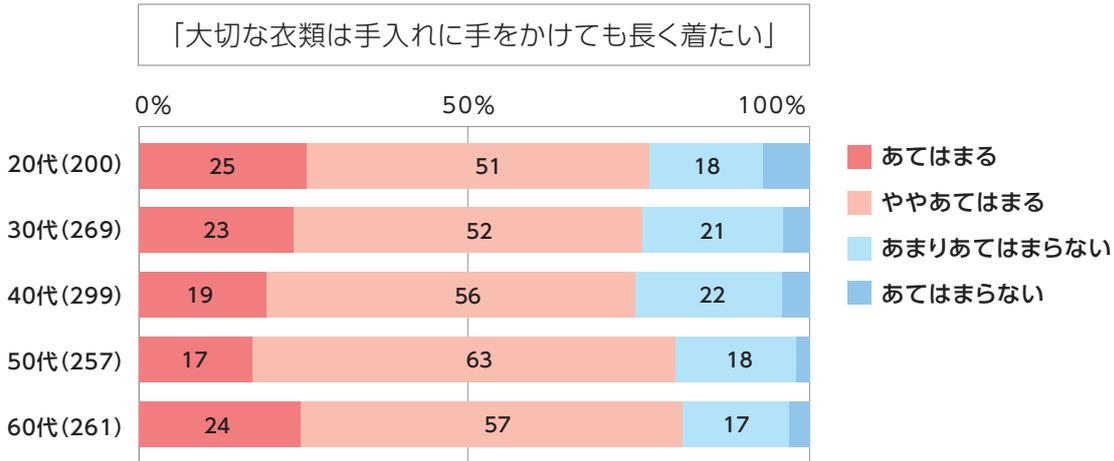
見た目で判断して洗うため、絵表示と実際の洗濯方法に乖離があった。やさしく洗う必要があるデリケートな衣類もいつもの洗濯＝「標準コース」で洗っている事例が見られた。

見た目で判断した洗い方	絵表示と素材	洗い方アドバイス
 お気に入りのレースチュニック レースがカワイイので、ネットに入れて手洗いコースで洗っています。	 洗濯機の弱水流か弱い手洗い 綿 76%/ナイロン 24%	 ネットに入れて、手洗いコースで洗っているから大丈夫！
 大切に着たいニットジャケット ニットだから家でも洗えるでしょ？やさしく手洗いします。	 水洗いできない 毛 80%/シルク 20%	 シルク混で、表示に色落ちの注意もあるので、家庭では洗えません。クリーニング店におまかせしましょう。
 スタッズが自慢のカットソー スタッズがついてるけど、カットソーだからいつもの標準コースでOKよね。	 弱い手洗い ポリエステル 65%/レーヨン 35%	 スタッズがついていて、レーヨンも入っている。標準コースでは、スタッズが取れたり、型くずれする可能性があるがあるので、手洗いコースで。

どの年代も、大切な衣類を 長持ちさせたい気持ちは同じ

今回の調査から、絵表示の活用状況については年代による大きな認識の違いは見られましたが、衣類をきちんとケアして大切に長く着たいという思いは、すべての年代で共通していることもわかりました(図4)。

20代では、衣類を大切にしたいその思いと、実際の洗濯方法がうまく結びついていないため、結果として衣類のダメージや残念な仕上がりを招いているようです。



20～60代既婚女性 1,286人(花王調べ)

(図4) ファッションに関する意識

家庭で洗える素材の増加や、カジュアルファッションの流行、洗剤や仕上げ剤の進化、洗濯機の多機能化など、衣類を取り巻く環境は、近年大きく変化しています。この変化は特に若い年代の洗濯の感覚にも影響を与え、それが洗濯方法にも表れているのではないかと思います。洗濯するときは、絵表示を上手に活用することが、衣類のダメージを防ぎ、大切な衣類を長持ちさせる決め手と言えそうです。

【絵表示を正しく活用して、お洗濯の困りごとを解決！】

絵表示は、その衣類に合ったお手入れ方法を示す大切な案内役です。正しく理解して活用すれば、大切な衣類をいつまでもきれいなまま着ることができます。家庭で洗えるものかどうかを判断するために、初めて洗う時には、絵表示を必ず確認しましょう。詳しくは、こちらも参考にしてください。



応援! くらしのキレイ お洗濯の基本の「キ」
ひとり暮らし、家事ビギナー必見! お洗濯バイブル

<http://www.kao.co.jp/lifei/support/01/>

※2016年12月より、衣類の取扱い表示が新しくなりました。

▶ 詳しくはこちら http://mykaji.kao.com/washing_guide/32319/

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX.03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。